

蓮教寺だより

慈雲山 蓮 教 寺

Tel 058(323)0597

<http://www.renkyoji.com>

『蓮教寺だより』発行に際して
蓮教寺開基九〇〇年記念事業

「あいさつ」



蓮教寺 責任役員 若原 三夫 さん
総代 (大野町下方) (わかはら みつお さん)

き感謝の気持ちを新たにさせていただきますました。

「蓮教寺だより」の発刊に際し、ご挨拶申し上げます。日頃は、蓮教寺様の運営・活動に対し、ご理解、ご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の発生により、手洗い・マスクの着用・三密を避ける・不要不急の外出自粛を心掛け生活様式の変化に戸惑いながらの月日でしたが、永代経・お盆・家族礼拝等の法座では、感染拡大予防を心掛けながらお参りをさせていただき、阿弥陀様の慈悲の心を感じ、心豊かに生活を送ることがで

さて、課題となつています「蓮教寺開基九〇〇年記念事業」につ

きましては、ご門徒の皆様方のご理解・ご支援を賜わり、二〇二〇年から二〇二四年までの五年間を事業期間として、本堂の耐震工事・門徒会館の建設・諸施設のバリアフリー化を実施し、門徒の皆様へ「安心してお参り」していただくとともに、蓮教寺様を一層身近に感じ「心のよりどころ」拠所とさせていただくこととしていきます。

また、事業実施にともなう募財につきましては、門徒の皆様方のご懇志をお願いしているところです。

昨年は、各地区総代様を通じ、懇志進納予定額を皆様より確認いただき、ご連絡を受け、その内容に従い、順次ご進納をいただいているところです。

事業進捗につきましては、新型コロナウイルス感染症の発生により、当初計画していましたが内容を見直さざるを得ず、門徒の皆様には、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後、計画の進捗状況、懇志進納状況につきましては、「総代会」・「門徒総会」にて、ご報告させていただきますとともに、「蓮教寺だより」においても、内容をご連絡させていただきまますので、よろしくお願い申し上げます。

ご門徒の皆様とともに蓮教寺様を盛り立てていきますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

感謝

「蓮教寺 ご門徒の皆さまへ」

蓮教寺が現在の地(本巢市浅木)に建立されたのは、いまから約九百年さかのぼる一一二四(保安五)年ころと考えられています。この地にとどまった釈淨忍が開基と伝えられます。

一四九〇(延徳二)年に、この地域寺院の中本山性顕寺(末守)が浄土真宗に改宗したのを機に、多くの寺院とともに一五二三(大永三)年、蓮教寺も浄土真宗に改宗いたしました。

以来、五百年にわたってお念仏の道場として、また幾多の困難な時代にも心の拠り所として、歴代の先祖が蓮教寺を護持してくださいました。どのような時代にも、お念仏の道場を護ってくださいたその想いは、『お念仏中心の生活』が、様々な困難をも乗り越える礎であったと拝察いたします。

【蓮教寺本堂】

現在の本堂は、(一説には)明治初期に建立されたと考えられます。昭和三十年代と平成十六年の二度、本堂屋根修復事業を行ってきました。これひとえに、皆様のご尽力、先人方の「お念仏相続」「ご法義の護持発展」への想いによるものであります。この蓮教寺を後世に受け継いでいくために、今後にご考えられる地震や豪雨などによる自然災害に備える対策を、早急に講じることが必要だと感じます。

また、ありがたい事として、蓮教寺のご法座は大勢の参拝の方がおられます。その際に、いくつか不便な思いを感じておられることについて、諸施設を改善する必要があります。具体的には、階段などの段差の解消やスロープ設置、またお手洗いの場所や使用の改善が考えられます。近年増加している、本堂で行うご法事や仏事に対応する事も鑑みて、段差の解消やお手洗いの仕様、位置の見直しを、本堂の耐震補強と併せて計画したいと思います。

【永代合葬墓】

ここ十数年で、世相は大きく変化してきました。なかでも、これまで受け継いできた「家」という単位は、跡継ぎのいない、跡を継ぐという考えを持たない、「など、考え方も多様化をしてくれています。

記念事業通信

□名称

蓮教寺開基九〇〇年記念事業

□期間

二〇二〇(令和二)年から
二〇二四(令和六)年まで
五会計年度を予定

□記念法要

二〇二四年五月を予定

□規模

・本堂耐震対策工事
・本堂庫裡バリアフリー化
及び境内地整備

・門徒会館(仮称)建設

※境内地整備にあわせて

永代合葬墓を建立

□予算

事業推進総経費 八千万円
ご門徒懇志予定 四千万円
※総代様を通じて
ご門徒一戸あたり

〇一〇二十五万円を基本

※総代様のおられない地域

〇ご理解とご協力をお願い
できる懇志額を基本

一方で「お仏壇中心の家庭」は、智慧と慈悲を育んできました。また「お墓」を通じて、「感謝すること」や「ひとりきりでないのち」を感じるこの出来る、仏さまの教えを受け継いできました。たとえ「家」を相続することが出来なくても、これまで相続した大切な「かたち」(教え)を捨ててしまうことが出来ない、という悩みに応えていくことも、お寺の役割であると痛感いたします。

今後は、その「かたち」をお寺が相続するため、「永代合葬墓」を境内に建立したいと思えます。

【門徒会館】

蓮教寺では一月の報恩講法要をはじめ永代経法要、盂蘭盆会法要、年末年始には除夜会・元旦会を満堂になるほどの大勢のご参拝の皆さまとともに勤めています。また、初参式・入学祝い、仏教婦人会総会・追悼法要、若婦人のつどいを開催し、毎月第二土曜日には家族礼拝を行っております。おかげさまで、大勢のご参拝の皆さままで本堂が賑わっていますこと、感謝申し上げます。

本来、お寺は本堂を中心として境内地全体が聞法の間であり、また地域に於いての交流の間であり、併せてご門徒の皆さまが気軽に参詣し、休憩し、ゆっくりと過ごしていただける場であった歴史があります。

現在、蓮教寺では、○お手洗い(位置や設備) ○ゆったりと休憩できる部屋 ○ご法座でお齋をよばれる場所 ○気軽に話し合うことのできる施設などが、残念ながら無いのが現状です。

一方で大玄関と玄関間、西の客殿(書院)はともに、築百年を迎え、まもなく大がかりな修復か建て替えが必要になる現状です。

いよいよ、二〇二四年には浄土真宗立教開宗八百年をお迎えいたします。同年は、蓮教寺開基九百年にもあたり、またその前年が浄土真宗改宗(お念仏の道場の開基)五百年にあたります記念の年を迎えることから、次の世代に「お念仏中心の生活」を受け継ぐことをめざして、『蓮教寺境内地整備計画』を①本堂の耐震補強と参拝設備(スロープなど)の設置 ②永代合葬墓 ③門徒の皆さまが安心して参拝し、後世にご法義を伝えるための施設「門徒会館(仮称)」の建設の三点【境内地整備事業】を行いたいと思えます。蓮教寺ご門徒の皆さまには、ご多繁の折とは存じますが、ご理解いただきたく、お願い申し上げます。

平成三十年七月

慈雲山 蓮教寺

□募財について

※二〇二〇年の春から秋に総代様を通じて各地域のご門徒様のご意向(進納予定額)を取りまとめ頂きました。

※進納予定額は、三千五百万円で、すでにその60%にあたります二千百万円をお預かりしております。(令和3年7月現在)

※今後、総代様のおられない地域のご門徒さまに『蓮教寺だより』を通じてご懇志のご案内(ご協力のお願い)をさせていただきます。

□今後について

○本堂の耐震について
準備段階での調査(耐震の規模)
○永代合葬墓の建立について
建立場所と納骨規程の作成
の2件が固まりました。

【合葬墓の建立】

二〇二一年一〇月～一二月

【耐震工事(躯体工事)】

二〇二二年九月～一二月

【旧建物撤去】二〇二三年四月

【門徒会館建設】同年九月からの予定ですすめてまいります。



◇春の永代経が勤まりました

今年の四月十一日(日)の午後、永代経が勤修されました。ご講師は、本巢市金原の橋行信先生が、コロナに負けない力強さでお取次ぎくださいました。

昨年は、永代経、孟蘭盆会、仏教婦人会のご法座が、休座や規模の縮小など寂しい一年でしたが、今年の永代経は(ソーシャルディスタンスを保ちつつ)賑やかにつとめることができました。



◇親鸞聖人御誕生八五〇年
立教開宗八〇〇年慶讃法要

令和五年にお迎えいたします親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要は、「親鸞聖人の説き示してくださいました浄土真宗の教えに出遇うことがなければ、今の私はあり得なかつたという聖人への感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、聖人のご誕生を祝い、『立教開宗』に感謝する」法要です。

団体参拝は二〇二三(令和五)年四月二六日(水)に中川南組から八〇名の予定で参拝団が組まれています。法要の年が近づきましたら、詳細をご案内します。

少し先の予定ではあります。が、体調を整えて、令和五年には是非皆さんと一緒に京都ご本山へお参りさせていただきますでしょう。

【編集後記】

■新型コロナウイルスの感染症は、様々な感染拡大防止にむけた取り組みがとられてから、一年以上になりました。蓮教寺でも、ご法座の開催にあたっては、十分に留意をいたしますが、感染状況などによっては中止など急な変更もあり得ますことご留意下さい。

■蓮教寺開基九〇〇年の記念事業も、その影響から少しずつ修正を加えながら、ではありませんが、二〇二四(令和六)年の完成(慶讃法要)に向けてすすめてまいります。■皆様のお参りしやすいお寺を目指し、また今後想定される災害への備えや、時代の変化にも適応できる設備を整えていきたいと考えております。この「蓮教寺だより」(年四回発行予定)を通してお知らせしたいと考えております。ご理解とご協賛をお願いします。

法座・行事のご案内

8月28日(土)

仏教婦人会若婦人のつどい

午後1時30分 おつとめ

午後2時ころからご法話

講師 田中秀哉師

岐阜市願明寺

※仏教婦人会の若婦人のつどいです。

男性・女性にかかわらず、どなたでも

お誘いあわせお参りください。

8月29日(日)

孟蘭盆会 お盆法要

午後1時30分 おつとめ

午後2時ころからご法話

講師 大熊秀基師

岐阜市専宗寺

※孟蘭盆会は、亡くなられたゆかりのある方々や先輩方を偲び、いのちのゆくえを考えさせていただく尊いご縁です。皆さまで厳かに勤めたいと思います。